



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二四三号

2022
10.28
責任者
市川 麻美

伝統を「繋ぐ」...

十月二十一日(金)、令和四年度学習活動発表会、今年度も感染症対策をしながら、できる限り通常の形に近づけて行いました。生徒会テーマ「繋ぐ」：卒業生から在校生、三年生から二年生、二年生から一年生へと...

開会式、実は三年生からとても強い意思を感じていました。入学してから



これまでも、感染症拡大に翻弄されてきたみなさん。そんな中でも、きること、を精一杯やり続けてきました。それぞれのク

ラスや委員会・部活動での取り組みで、努力と協力を重ねたことが、十二分に伝わりました。素晴らしかったです。

今年度も確実に『真鶴中の伝統』が繋がりました。三年生の皆さんのやりきった表情に胸が熱くなりました。今年度も感動をありがとうございました。

「学校保健委員会」

九月二十八日に薬剤師さんやPTA役員も参加して、学校保健委員会が開催されました。

また、学習活動発表会でも全校生徒に向けて、発表してくれました。

今回の学校保健委員会では、会場に



いらしたみなさんが、楽しく参加してくれました。いいなと思いついた体験活動を取り入れました。当日は、その体験活動に参加してくれて嬉しかったです。私のおすすめの音

楽を途中で流したので、発表も楽しくできました。

同じ内容を、学

習活動発表会でも発表したの、これからテストの時期が迫ってきて、ストレスを感じたら実践してもらえ

たらいいと思います。発表した内容を生かし、みんながストレスのない生活を送れるようになってくれたら嬉しいです。

三年二組 若林 綾羅

「地区中学校英語発表会」

十月八日(土)に小田原の尊徳記念館で「地区中学校英語発表会」が行われました。本校からは、二組が参加をし、日頃の英語の授業で培った力を発揮しました。

当日は、緊張よりも、この機会を楽しみたい気持ちを強く持って臨みました。最初は原稿作りから始まり、が、あまり良いものが思いつかずに悩んでいました。

そんなとき、先生から「自分の好きなことに話題を変えてみないか」等の



アドバイスをいただきました。そこで私は、一番好きなヨーヨーについて話すことにしました。すると次々に文章が浮かんできて、本番でも感情を込めて堂々と表現することができました。

私は将来、英語関係の仕事に就きたいと思っていますので、今回のスピーチは今後役に立つ良い経験となりました。

三年二組 長谷川 謙心

私たちは、二人で英語の発表会に参加しました。先生と一緒にスピーチを考え、たくさん練習しました。最初に練習した時は、発音やタイミングなど覚えることがたくさんあり、難しかったです。しかし、練習していくうちに慣れてきて、スラスラと会話のようにできるようになりました。実際に参加して、とても緊張しましたが、私たちの一杯を發揮することができました。この経験を生かして、今後に繋げていきたいです。

三年一組

朝倉 希彩
露木 陽南子



「地区中体連駅伝大会」

十月九日(日)に、地区中体連陸上競技駅伝大会の部が、酒匂川左岸サイクリング場で開催されました。

本来は六区間で争われますが、本校からは二名の参加で、二区までの競技になりました。しっかりとタスキを繋ぎ、次年度に続く走りとなりました。

私は、元々走ることが、得意ではありませんでした。過去に半島マラソンに出場した時も、最下位でした。

今回、友人に誘われたことがきっかけで、駅伝大会に参加することになりました。正直、自信も無く迷いましたが、「何事も経験だ」と思い、挑戦することに決めました。

本番は、私が第一走者として走りました。走っている時はとても苦しく、何度心も折れかけました。ですが、そんな私を



応援の声を救ってくれました。「がんばれ！がんばれ！」と言

う声をかけてもらったことで、心も体も軽くなった気がしました。

今回の駅伝大会は、楽しいことよりも、苦しいことの方が多かったですが、温かい言葉が支えとなることを実感し、言葉の力の偉大さを知ることができました。

三年二組 露木琉夏

「実力差」。これを私は、とても感じました。大会一週間前の練習に会場へ行った。するとそこでは、他校も走っていた。少しウォーミングアップをしてから走ってみると、すぐに横っ腹が痛くなってきた。駅伝の距離は3kmなのだが、正直なところ1.5kmでももう限界を感じていた。残り1kmほどのところで、自分の二倍や三倍ほどの速さで走っていく集団が来た。私はそこで「実力差」を感じた。この時自分には体力が足りなさすぎるのではないかと思った。だが、もう何もできなかった。

大会当日、

第一走者からタスキをもらい、走り出した。目の前にいた人だけは絶対に抜かしたいという闘争心に燃え、一人抜



かした。だが、1kmほど走ると、やはり横っ腹が痛くなり、ペースが落ちてきた。すると一人二人とどんどん前へゆく。悔しかった。追い抜こうと思っても、追いつけない。その悔しさを持ちながらゴールした。悔しかった。だが、自分の弱みが分かっていたため、結果的には良い結果になった。また来年出る時まで、自分の弱みを少しでもなくすことができればと思う。

一年一組 日比野慎太郎

「国土交通大臣表彰」

受賞！

令和四年十月十四日、国土交通省にて行われた表彰式に参加してきました。長年の「駅前清掃」活動を評価していただきました。大変名誉なことです。令和二年度からは感染症拡大の影響で実施できていませんので、現在の生徒の皆さんはこの活動を知らないと思います。が、「駅前清掃」は、昭和三十六年度に本校が社会福祉教育研究指定校となり、研究の一環の活動として始まったものです。

「外から来る人に美しい町と伝えたい、またそれを保っていききたい、郷土に貢献したい。」という生徒の思いが、半世紀以上(六〇年近く)続いているの

です。(私もその一人です!)是非このことを忘れずにいてほしいです。

そして今後、駅前工事終了と共に再開していききたいと考えています。ですので、よろしく申し上げます。



★お知らせ★

上履きを販売しています、青木洋品店から連絡がありました。

昨今の国内外の社会情勢により、値上げをせざる得ない状況になってきたとのことです。

現行価格は 3,400 円(税込み)ですが、令和5年1月1日より、3,900 円(税込み)となります。ご承知おきください。

学習活動発表会についてはさらに次週発行予定です。